

# 政治学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
107	政治学演習 (小原隆治)	通年	3年以上：4単位	小原 隆治 政政・経演・国演

**副題**  
Subtitle 自治・分権を考える

**授業概要**  
Course Description

自治・分権をめぐるさまざまな問題を多面的な角度から考察する。春学期は、参加者がいくつかのテキストを輪読形式で読み進める。今年度は、まず最初に担当教員が最近著した論文を3点検討する。ついで複数の著者の手になる教科書的なテキストを1冊扱い、各自の問題意識を深めてもらう。夏合宿・秋学期は、参加者が春学期の学習を踏まえてそれぞれ関心あるテーマを選択し、テーマ別に編成したグループ単位で研究報告を積み重ねる。秋学期末に、それまでの研究成果を8,000字以上のレポートにまとめて提出する。

ゼミの学習面でも運営面でも、参加者の自主性に大いに期待したい。ゼミもまた「自治」の実践の場だからである。なお、ゼミに出席することは参加者の権利だが、そこには相応の責任がともなう。無断欠席は認められない。また、相当の理由なく各期回数分の3分の1以上欠席した者は、ゼミに参加する権利を自動的に失う。春学期で失格した者は秋学期に参加する権利を持たない。

**授業の到達目標**  
Objectives

自治・分権をめぐる全体的な問題状況を把握する。そのうえで個別具体的な制度・政策・事例のレベルに落として課題を考察する方法態度を身につける。

**授業計画**  
Course Schedule

第1回：ガイダンス  
第2回 - 第4回：小原（2010 a / b, 2011 予定）を3回で輪読する。  
第5回 - 第14回：磯崎・金井・伊藤（2011）を10回で輪読する。  
第15回：今後の打ち合わせ（テーマ別グループ編成など）  
夏合宿、第16回 - 第30回：参加者がテーマ別に編成したグループ単位で研究報告を行なう。

**教科書**  
Textbook(s)

- ・小原隆治「分権・自治をどう進めるか」（山口二郎編『民主党政権は何をなすべきか』岩波書店、2010年 a）
- ・小原隆治「地域と公共性」（齋藤純一編『公共性の政治理論』ナカニシヤ出版、2010年 b）
- ・小原隆治「自治・分権とデモクラシー」（齋藤純一・田村哲樹編『アクセス デモクラシー論』日本経済評論社、2011年 予定）
- ・磯崎初仁・金井利之・伊藤正次『ホーンブック 地方自治（改訂版）』（北樹出版、2011年）

小原（2010 a / b, 2011 予定）は受講者にコピーを配付する。

**参考文献**  
Reference Book(s)

開講時をはじめ随時紹介する。

評価方法 Evaluation	割合 (%) Percent (%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	20 %	通常の試験・レポートと同じ観点から評価する。レポートはS、A、B等の評価結果を明記し、コメントをつけて返却する。
平常点評価 Class Participation	80 %	前述の出席要件を満たしていることを前提として、日頃のゼミへの貢献度を評価する。
その他 Other	%	

備 考  
Note

関連URL  
URLs for References

随時紹介する。